

Medical Innovation by NCGM and Commons

開催レポート：第9回 海外医療機器の最新動向勉強会

2019年3月13日（水）、国立国際医療研究センター大会議室にて、MINCの会「第9回海外医療機器の最新動向勉強会」を開催いたしました。行政機関、病院/関係者、企業、医工連携関係者、54名の参加をいただきました。ご参加の皆さま、ありがとうございました。

■ MINCの会 勉強会について

国立国際医療研究センターと日本医工ものづくりコモンズでは、2017年秋より、海外医療機器情報誌の日本語訳版「Medical Globe」（株式会社カワニシホールディングス発行）から最新の記事の抜粋を資料として、情報共有をおこなう勉強会を定期的に開催しています。



<http://www.kawanishi-md.co.jp/mg/index.asp>

■ 第9回について

- 国立国際医療研究センター（NCGM）を代表して病院長の大西 真 先生から開会のご挨拶をいただきました。
- 医工連携に関わる行政機関、経済産業省 医療・福祉機器産業室、厚生労働省 医療機器審査管理課 日本医療研究開発機構（AMED）産学連携部、東京都産業労働局、特許庁、日本医療機器産業連合会からご来賓としてご参加をいただきました。
- カリフォルニア大学UCLAメメディカルセンター脳血管内治療部 立嶋 智教授にもご参加をいただき、ご挨拶とコメントをいただきました。
- 勉強会のディスカッションでは、前回に引き続き、国立国際医療研究センター（NCGM）医工連携推進室長の丸岡 豊 先生（歯科・口腔外科）と東京医科大学の福田 尚司 先生（心臓血管外科）を座長に、また医薬品医療機器総合機構（PMDA）より望月 修一 先生をコメンテーターとしてお迎えし、議論をおこないました。
- 記事については、原 久男 先生（循環器内科）、新井 憲俊 先生（神経内科）、宮崎 英世（泌尿器科）に講師としてご参加いただき、専門医のお立場から症例や国内の現状の説明とともに、海外の最新医療機器についてコメントをいただき、参加者の皆さまとディスカッションをおこないました。
- 記事紹介では、薬剤部の寺門先生からも事前にコメントをいただき、発表させていただきました。



📝 参加者からの声

- ✓初めての参加でしたが、丁寧に説明が入り、とても勉強になりました。
- ✓毎回このような大変勉強になる勉強会を開催いただき感謝しております。
- ✓もともと関心のある領域だったが医師の詳細な解説と率直なコメントが聞けて良かった。

ディスカッション記事

【循環器内科】SoundBite社のCTO貫通ガイドワイヤーシステムSoundBite	
【神経内科】末梢神経の修復を促進する生体吸収性の植込み型電気刺激装置	
【神経内科】GTX社の脊髄刺激による神経代替システムが麻痺患者の歩行機能を回復	
【泌尿器科】オリンパス、BPH用インプラントを開発するMedi-Tate 社と提携	
記事紹介	
【整形・口腔外科】SYNOSTE社の形状記憶合金製の脚延長術用髓内釘Nitinail	
【薬剤部】Hero社が家庭用の自動錠剤ディスペンサーを米国で発売	

◇ 事務局より御礼

前回に引き続き、関西地区とウェブ会議で結び、視聴を試させていただきました。今後も改善をしながら、有意義な勉強会を継続していきたいと考えております。 来年度は3ヶ月に1回の開催となります。

第10回は、2019年6月5日（水）18時より、国立国際医療研究センター 大会議室にて開催いたします。